

平成28年7月の大阪森林便り



木材パルプ使い 低カロリー食品 オーミケンシ

オーミケンシは、木材パルプを原料にした低カロリーの健康食品を発売。パルプ由来のセルロースとこんにゃくの成分を混ぜ、食感を改善しました。
(2016年6月9日 日本経済新聞記事から抜粋)



今月の木の話 リラックス・鎮静効果

木に囲まれていると、何となく落ち着くのは私だけなの？

人間は、木のような有機的な材料に親しみを感ずります。家の内装に多く木質材料が使われているのも、人間の精神状態と無関係ではありません。

木が人間の精神をリラックスさせるひとつには、香りに沈静効果があるからです。快い香りが精神的ストレスや不安を解消することは、科学的にも立証されています。

良い香りをかいだ時に脳波を測ると、安静状態で出されるアルファ波が多く出されていることが確認されています。森林浴には精神をリラックスさせる効果もあり、人間の健康に大きな役割を果たしています。

また、温もりのある肌触りも木の大きな魅力です。人肌に近い温もりを持っています。

さらに、不規則で微妙な木の肌が適度な摩擦を生んで、手や足になじむ感触を生み出しているのです。

人間は整然としたものより、少し揺れやズレのあるものを快適だと感じます。これは、「f分の1」の揺れとして研究され、エアコンや扇風機にも応用されています。

自然界が生んだ模様、心地よい音楽、手作りの工芸品。人が好いと思うものほとんどは「f分の1」の揺れをもっています。

木も同様で、人は木の模様や畳の目を見て安らぎを覚えるのです。

(社団法人福岡県木材組合連合会「木のある生活」より抜粋)

